

**INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016 @SuperDeluxe vol.3****浅田彰や田中康夫ら6名によるトーク&プレゼンテーション (T&P)****『Carpe diem = 今を摘め』**

日時：11月18日(金) 19:00開演 (18:30開場) /会場：スーパー・デラックス (東京・西麻布)

アート、デザイン、建築、科学、文学、食、音楽など多彩な分野で活躍する専門家が、ジャンルの垣根を超えて多角的な視点から、「文化をデザイン」することを目的に活動している、一般社団法人日本文化デザインフォーラム（理事長：水野誠一、以下 JIDF）は、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016」の第3弾として、各界のオピニオンリーダー6名によるエキサイティングなトーク&プレゼンテーション (T&P) を繰り広げるトークライブ『carpe diem = 今を摘め』を、11月18日(金) にスーパー・デラックス (東京都港区西麻布) で開催します。



T&amp;P『carpe diem = 今を摘め』登壇者

左から、マリ・クリスティーヌ、古賀健太、大樋年雄、田中康夫、浅田彰、木村公治

**■ 浅田彰や田中康夫、大樋年雄など6名が、自身の“今”を熱く語る**

今回のトーク&プレゼンテーション『carpe diem = 今を摘め』では、1980年代にニューアカデミズムの旗手として“浅田彰現象”を巻き起こし、「スキゾ/パラノ」で流行語大賞を受賞した浅田彰と、長野県知事、衆議院議員を歴任した作家の田中康夫の対談をはじめ、江戸時代より続く大樋焼を継承し、十一代大樋長左衛門を襲名しながら、現代アートの世界でも国内外で活躍する大樋年雄、プロマジシャンの木村公治、GAKKO プロジェクトを主宰する古賀健太、異文化コミュニケーターのマリ・クリスティーヌといった各界のスペシャリスト6名が登壇します。

「carpe diem」とは、古代ローマの詩人・ホラティウスの詩の中に登場する言葉で、「その日を摘め」と訳されますが、これを現代的に「今を生きる」と解釈。登壇者の方々には、それぞれの“今”を熱く語っていただきます。1人15分という限られた時間の中での白熱したスピーチは、必聴です。

**■ 軽食ビュッフェ&ドリンクバー付き、入場料は前売り3,000円**

INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016 @SuperDeluxe vol.3『carpe diem = 今を摘め』の入場料は、前売り3,000円（当日は3,500円）で、どなたでもご参加いただけます。会場内では、軽食ビュッフェ&ドリンクバー（アルコール類含む）も用意しています。また、トーク&プレゼンテーション終了後は、「ザッツ談パーティー」と称した登壇者等との語らいの場も設けます。

JIDFでは、2013年より「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催。「挑発するデザイン」（2014年）、「江戸と、江戸時代から読む未来」（2015年）など毎回異なるテーマで、JIDF会員をはじめ各分野で活躍する人々のメッセージを発信してまいりました。今年は、これら有識者のメッセージによって“今、この瞬間を目一杯楽しむ場”を提供するべく、『carpe diem = 今を摘め』をテーマとしたトーク&プレゼンテーション (T&P) を展開。4月のvol.1、7月のvol.2に続き、今回が3回目の開催となります。

【ご参考】vol.2の様子  
(7/15実施)**【本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】**

「インターデザインフォーラム東京」PR事務局（株式会社ジェーワン） 担当：鳥塚、久保  
TEL.03-3584-4981 / FAX.03-3584-5230 / メール idft@jone.jp

**【紙・誌面、WEBサイトにご掲載いただく際の一般の皆様からのお問い合わせ先】**

JIDF事務局 TEL.03-6441-0762（平日10:00～17:00）

- 日 時： 11月18日(金) 19:00開演(18:30開場)
- 会 場： スーパー・デラックス(東京都港区西麻布3-1-25 B1F)
- 入場料： 前売り3,000円/当日3,500円(軽食buffet&ドリンクバー込み)  
※前売りは、11月17日(木) 17:00まで、JIDFホームページ  
(<http://www.jidf.net/>)にて受付



- 主 催： 一般社団法人日本文化デザインフォーラム (JIDF)
- 協 賛： 株式会社博報堂/株式会社 AOI Pro./株式会社丹青社/大日本印刷株式会社/  
株式会社テー・オー・ダブリュー/株式会社ティー・ワイ・オー/株式会社東北新社/  
凸版印刷株式会社/株式会社乃村工藝社/株式会社ムラヤマ
- 登壇者情報および演目内容(予定)：

マリ・クリスティーヌ  
Mari CHRISTINE



### Looking Outside "The Box" (Japan)

今までと同じものの見方で世界を解釈すると大きな間違えになります。日本に暮らしているとなかなか理解できない外国の現状があります。それを紐解く視点を少しだけお話しします。異文化理解の視点で今おきているアジアと世界の現状に触れながら提案します。

異文化コミュニケーター。父親の仕事に伴い4歳まで日本で暮らし、その後ドイツ、アメリカ、イラン、タイ等諸外国で生活。単身帰国後、上智大学国際学部比較文化学科卒業。1994年東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。国際会議・式典等の司会、講演活動、企業のCSRアドバイザーなど多方面で活動。

古賀健太  
Kenja KOGA



### 教育デモクラシー

テクノロジーの進歩、社会変動の速さに、教育は取り残されている。世界が繋がり、個々の発信力が無限の可能性を持つ現代、テクノロジーとデザインを使ってどう教育の世界規模デモクラシーを実現できるのかを問う。

1991年生まれ、福岡県出身。米エール大学コンピュータサイエンス専攻。在学中に、デザインとテクノロジーを使って未来の教育を創造する会社、GAKKOを起業。現在サンフランシスコと東京を拠点に、ルーマニア、インドネシアでも教育プログラムを展開。プロのマジシャンとしても活動。

十一代長左衛門  
大樋年雄  
Toshio OHI



### 私の襲名

アメリカボストン大学大学院で現代アートを学び、以後およそ30年にわたり現代アーティストとして、あるいは家業の大樋焼の後継者として茶碗などを制作してきた。今、十一代 大樋長左衛門となり、新しい時代に同期させながら生きている。現代社会における私の襲名とは何なのか?語ってみたい!

1958年、十代大樋長左衛門の長男として金沢に生まれる。84年にボストン大学大学院修士課程修了。2015年、第54回日本現代工芸美術展「最高賞」内閣総理大臣賞を受賞。ニューヨークのアートクラフティング展に招待出品。16年には十一代大樋長左衛門を襲名し、米国ワシントン日本大使館で記念講演。大樋焼の伝統を継承しながら、現代アーティストとしても活動は多岐にわたる。

田中康夫  
Yasuo TANAKA



浅田彰  
AKIRA ASADA



## 憂国呆談ライブ

1980年代初頭、共に鮮烈なデビューをした2人が、1989年から四半世紀にわたって毎月、繰り広げてきた「憂国呆談」は、ディテールを押さえながら物事を俯瞰し、「本質」を指摘する対談として耳目を集め続けてきた。「海図なき時代」の今を生きるあなたへの羅針盤として、今回はそのライブ版をお届けする。

作家。1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。在学中に「なんとなく、クリスタル」で「文藝賞」受賞。2000年～06年、長野県知事。07年～12年、参議院議員、衆議院議員。14年「33年後のなんとなく、クリスタル」出版。<http://tanakayasuo.me/>

京都大学経済学部卒業。京都大学経済研究所・准教授を経て、京都造形芸術大学大学院院長就任。1983年、「構造と力」(勁草書房)を発表し、翌年の「逃走論」(筑摩書房)で提示した「スキゾ／パラノ」のパラダイムとともに、「浅田彰現象」とも呼ばれる「ニューアカデミズム・ブーム」を生んだ。その後、哲学・思想史のみならず、美術、建築、音楽、舞踊、映画、文学ほか多種多様な分野において批評活動を展開。著書に「構造と力」、「逃走論」のほか、「ヘルメスの音楽」(筑摩書房)、「映画の世紀末」(新潮社)、「20世紀文化の臨界」(青土社)など。

木村公治  
KOJI KIMURA



## 魔法の瞬間

魔法とトーク。魔法の瞬間、それはまさに今この時、そしてこの場所という時空間の一座標を皆で共有できる貴重な瞬間。魔法の一点を起点にあらゆる壁が溶けてしまい、皆がただの人としてその場をシェアできる瞬間です。

上智大学卒業後、ITベンチャー企業を経てプロマジシャンとして独立。各種メディアや各界VIPパーティ等で「魔法つかい」として活躍する傍ら、魔法を通して人々の笑顔を切り取る旅、魔法紀行をライフワークで続ける。その他、映像のアドバイザー・演出、執筆、講演活動など幅広く活動。

## 日本文化デザインフォーラムについて

日本文化デザインフォーラム (Japan Inter-Design Forum /JIDF)は、アート、デザイン、建築、科学、哲学、文学、評論、伝統芸能、都市計画、写真、食、音楽、映像など、多彩な分野の先端的な活動をしている専門家約 100 名が自発的に集まった任意の団体です。それぞれの専門ジャンルの垣根を超えて会員相互で交流・啓発しあうことで、これまでにない発想を生み出し、多角的な視点から日本及び世界の「文化をデザイン」することを目的に活動しています。

1980年の設立(旧組織名称：日本文化デザイン会議/～1989年)以来、国内の主要都市で30回を超えるフォーラムを開催してきました。2011年8月からは「一般社団法人日本文化デザインフォーラム」として新たにスタート。本フォーラムの発起人である建築家・黒川紀章の七回忌にあたる2013年より、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催し、デザイン、建築、アートなど、さまざまな分野を牽引するプロフェッショナル達のメッセージを発信し続けています。